

「ヘブル書とは」

ヘブル書 1章

私には、6人の誠実な召使いがいます。

私が知っていることは、
みな彼らが教えてくれたのです。

彼らの名は

「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」

「どのように」「なぜ」

です。

(キプリング、1865～1936年、英国の詩人)

ヘブル書 = 新約のレビ記

へ
ブ
ル
書

紹
介

I. 著者

II. 受取人

III. 執筆年代

IV. 執筆事情

V. 執筆目的

著者と受取人

著者 不詳・不明

受取人 ユダヤ教から回心したユダヤ人

- ① 彼らは、クリスチャンである(5:12)
- ② 最初の指導者は、亡くなっている(13:7)
- ③ テモテを、よく知っている人々(13:23)
- ④ 信仰ゆえ、迫害に遭っている(10:32~36)

あなたがたは

年数からすれば、教師になっていなければ
ならないにもかかわらず

神が告げたことばの初歩を

もう一度、だれかに教えてもらう必要が
あります。

あなたがたは、固い食物ではなく
乳が、必要になっています。

著者 不詳・不明

受取人 ユダヤ教から回心したユダヤ人

- ① 彼らは、クリスチャンである(5:12)
- ② **最初の指導者は、亡くなっている**(13:7)
- ③ テモテを、よく知っている人々(13:23)
- ④ 信仰ゆえ、迫害に遭っている(10:32~36)

神のことばを

あなたがたに話した指導者たちのことを
覚えていなさい。

彼らの生き方から生まれたものをよく見て
その信仰に倣いなさい。

へブル―3章7節

著者 不詳・不明

受取人 ユダヤ教から回心したユダヤ人

- ① 彼らは、クリスチャンである(5:12)
- ② 最初の指導者は、亡くなっている(13:7)
- ③ テモテを、よく知っている人々(13:23)
- ④ 信仰ゆえ、迫害に遭っている(10:32~36)

私たちの兄弟テモテが

釈放されたことをお知らせします。

もし、彼が早く来れば

私は、彼と一緒に、あなたがたに

会えるでしょう。

へブルー3章ー7節

著者 不詳・不明

受取人 ユダヤ教から回心したユダヤ人

- ① 彼らは、クリスチャンである(5:12)
- ② 最初の指導者は、亡くなっている(13:7)
- ③ テモテを、よく知っている人々(13:23)
- ④ 信仰ゆえ、迫害に遭っている(10:32~36)

あなたがたは、光に照らされた後で苦難との厳しい戦いに耐えた、初めの日々を思い起こしなさい。

嘲られ、苦しい目にあわされ、見せ物にされたこともあれば、このような目にあつた人たちの同志となつたこともあります。

あなたがたは

牢につながれている人々と苦しみをともし

また、自分たちにはもつとすぐれた

いつまでも残る財産があることを知っていたので

自分の財産が奪われても

それを喜んで受け入れました。

ですから

あなたがたの確信を投げ捨ててはいけません。

その確信には大きな報いがあります。

あなたがたが神のみこころを行って、約束のものを手に入れるために必要なのは、忍耐です。

著者 不詳・不明

受取人 ユダヤ教から回心したユダヤ人

- ① 彼らは、クリスチャンである(5:12)
- ② 最初の指導者は、亡くなっている(13:7)
- ③ テモテを、よく知っている人々(13:23)
- ④ 信仰ゆえ、迫害に遭っている(10:32~36)

執筆年代

執筆年代

A.D.67~69年頃

- ① エルサレム神殿が存在している(8:4)
エルサレム神殿は、A.D.70年に陥落した。
- ② テモテが、健在である。
- ③ 迫害はすでにあつたが
まだ、殉教者は出ていない(10:32~12:4)

…もしこの方が、地上におられたなら

祭司であることは決してなかったでしょう。
律法にしたがってささげ物をする祭司たちが
がいるからです。

この祭司たちは

天にあるものの写しと影に仕えています。

へブル 8章 3〜4節

執筆年代

A.D.67~69年頃

- ① エルサレム神殿が存在している(8:4)
エルサレム神殿は、A.D.70年に陥落した。
- ② テモテが、健在である。
- ③ 迫害はすでにあつたが
まだ、殉教者は出ていない(10:32~12:4)

あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対するこのような

反抗を耐え忍ばれた方のことを考えなさい。

あなたがたの心が、元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは、罪と戦って

まだ、血を流すまで抵抗したことが

ありません。

執筆年代

A.D.67~69年頃

- ① エルサレム神殿が存在している(8:4)
エルサレム神殿は、A.D.70年に陥落した。
- ② テモテが、健在である。
- ③ 迫害はすでにあつたが
まだ、殉教者は出ていない(10:32~12:4)

執筆事情

執筆事情

- ① 受信人たちは、信仰に対する初めの熱意を失っていた(3:6、14)
- ② 信仰の進歩がなかった(5:11~13)
- ③ 再臨への希望が次第に薄れ始め、集会をやめる人たちが出始めていた(10:25)
- ④ 旧約の教え(儀式)に、逆戻りしようとする傾向あり

もし、私たちが
確信と、希望による誇りとを
終わりまでしっかりと持ち続けるならば
私たちが神の家なのです。

もし、最初の確信を
終わりまでしっかりと保ちさえすれば
私たちは
キリストにあずかる者となるのです。

執筆事情

- ① 受信人たちは、信仰に対する初めの熱意を失っていた(3:6、14)
- ② 信仰の進歩がなかった(5:11~13)
- ③ 再臨への希望が次第に薄れ始め、集会をやめる人たちが出始めていた(10:25)
- ④ 旧約の教え(儀式)に、逆戻りしようとする傾向あり

このメルキゼデクについて、
私たちには話すことがたくさんありますが
説き明かすことは困難です。
あなたがたが

聞くことに対して鈍くなっているからです。

あなたがたは、年数からすれば教師になって
いなければならぬにもかかわらず

神が告げたことばの初歩を

**もう一度だれかに教えてもらう必要が
あります。**

あなたがたは、固い食物ではなく
乳が、必要になっています。

執筆事情

- ① 受信人たちは、信仰に対する初めの熱意を失っていた(3:6、14)
- ② 信仰の進歩がなかった(5:11~13)
- ③ 再臨への希望が次第に薄れ始め
集会をやめる人たちが出始めていた(10:25)
- ④ 旧約の教え(儀式)に、逆戻りしようとする傾向あり

約束してくださった方は真実な方ですから
私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白し
続けようではありませんか。

また、愛と善行を促すために
互いに注意を払おうではありませんか。

ある人たちの習慣に倣って
自分たちの集まりをやめたりせず
むしろ励まし合いましよう。

その日が近づいていることが分かっている
のですから
ますます励もうではありませんか。

執筆事情

- ① 受信人たちは、信仰に対する初めの熱意を失っていた(3:6、14)
- ② 信仰の進歩がなかった(5:11~13)
- ③ 再臨への希望が次第に薄れ始め、集会をやめる人たちが出始めていた(10:25)
- ④ 旧約の教え(儀式)に、逆戻りしようとする傾向あり

執筆 目的

執筆目的

- ① キリストに対する信仰は、儀式を守ることよりはるかにすぐれていることを教える。
- ② キリストの十字架の死により旧約の儀式は、過ぎ去ったことを教える(9:24~26)
- ③ 信仰の停滞している人々を励ます(6:1)

執筆目的

- ① キリストに対する信仰は、儀式を守ることよりはるかにすぐれていることを教える。
- ② キリストの十字架の死により
旧約の儀式は、過ぎ去ったことを教える (9:24~26)
- ③ 信仰の停滞している人々を励ます (6:1)

キリストは、本物の模型にすぎない
人の手で造られた聖所に入られたのではなく
天そのものに入られたのです。
そして今

私たちのために、神の御前に現れてくださいます。

それも、年ごとに自分の血でない血を携えて
聖所に入る大祭司とは違い、キリストはご自分を
何度も献げるようなことはなさいません。

もし同じだとしたら

世界の基が据えられたときから

何度も苦難を受けなければならなかったでしょう。

しかし今、キリストは、**ただ一度**だけ

世々の終わりに

ご自分をいけにえとして、罪を取り除くために
現れてくださいました。

執筆目的

- ① キリストに対する信仰は、儀式を守ることよりはるかにすぐれていることを教える。
- ② キリストの十字架の死により旧約の儀式は、過ぎ去ったことを教える(9:24~26)
- ③ 信仰の停滞している人々を励ます(6:1)

ですから、私たちは

キリストについての初步の教えを後にして

成熟を目指して進もうではありませんか。

ヘブル 6章1節

わたしは、あなたの行ないを知っている。

あなたは、冷たくもなく、熱くもない。

わたしはむしろ

あなたが冷たいか、熱いかであってほしい。

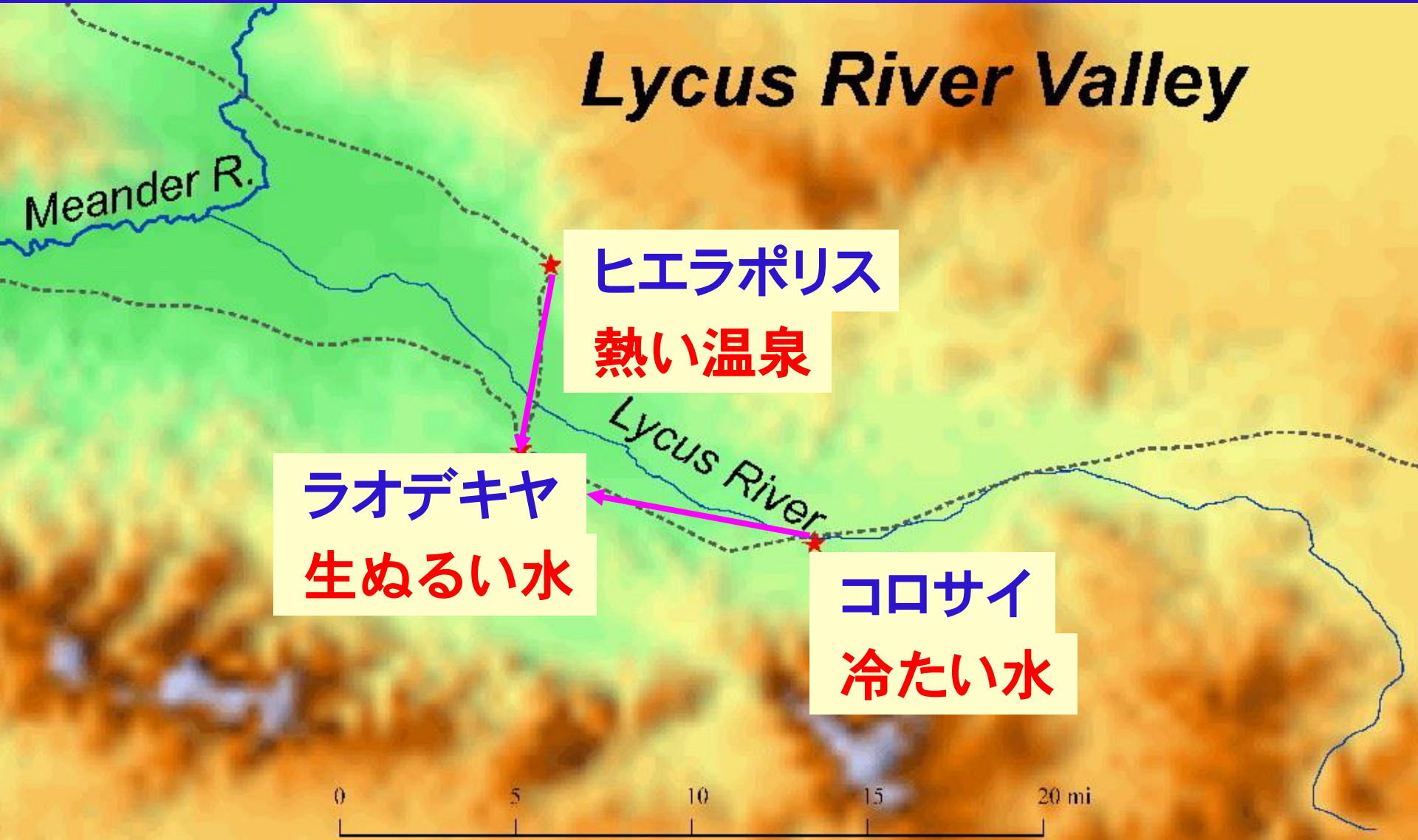
このように

あなたは、なまぬるく

熱くも、冷たくも、ないので

わたしの口からあなたを吐き出そう。

Lycus River Valley



わたしは、あなたの行ないを知っている。

あなたは、冷たくもなく、熱くもない。

わたしはむしろ

あなたが冷たいか、熱いかであってほしい。

このように

あなたは、なまぬるく

熱くも、冷たくも、ないので

わたしの口からあなたを吐き出そう。